

承認

●衆議院議員選挙の投票事務職員手当等に314万円、国民審査読取集計機の購入に168万円など、計710万円を追加補正した専決処分分報告があり、原案通り承認しました。

選挙用看板設置 外注委託できないか

竹田議員 国民審査読取集計機は、他の選挙時にも使えますか。

また、職員等で行っている選挙用掲示看板の設置は、外部に委託するなどの考えはありますか。
大野総務課長 ○や×を記載した数を読み取る機械で、票数計算にも使えますが、別に専用の機械があるため使用する予定はありません。

国政選挙には交付金の基準があり、その範囲内で実施したため経費の軽減が図られる方法を取っています。予算に余裕があれば、外注することの検討は可能です。

発議

地方自治法の一部改正により、議会委員会条例と会議規則の一部改正を提案し可決しました。

●木古内町議会委員会条例の一部改正

特別委員の存在及び常任委員会委員の所属義務の規定を改正しました。

●木古内町議会会議規則の一部改正

委員会と同様に本会議においても、公聴会の開催や参考人の招致ができることになったことから規則を改正しました。

●総合交通体系調査特別委員会の調査項目の追加
調査項目に、「JR江差線の廃止に関する事項」を追加しました。

条例改正

●木古内町長等の給与等に関する条例の一部改正
公営住宅解体工事契約解除の責任を取り、町長及び副町長が給与の5%を1か月間減額するため一部改正をしました。

意見書

▼「安心できる介護制度の実現を 求める意見書」

新井田昭男議員から提出された意見書案は原案通り可決され、内閣総理大臣ほか関係機関に提出しました。

要望事項

1. 介護保険制度を改善し介護報酬を引き上げるとともに、介護保険料・利用料を国の責任で軽減すること。
2. 訪問ヘルパーによる生活援助の時間短縮と上限引き下げを見直し、必要なサービスを受けられるよう改めること。
3. 全額国費負担による介護職員の賃金引き上げを行うこと。



元気にもちつきをする介護老健施設いさりびの皆さん

決議

▼「大間原子力発電所建設の無期限凍結を求める決議」

木古内町議会議員全員の総意として、次のとおり決議しました。

福島第一原子力発電所事故により、多くの国民が安全性に不安を抱き、その後、事故収束の困難さも明らかになるなど、その不安は増大の一途をたどっています。

この間、木古内町議会では、平成23年9月に「原発依存からの脱却と大間原子力発電所建設の凍結を求める意見書」を可決しました。

大間原子力発電所の工事を再開し、これを稼働させることは、「原発の新增設は行わず、2030年代に原発ゼロを目指す」という政府方針と矛盾するものであり、国民の期待を裏切るものであります。

大間原子力発電所の建設を推進するということは、北海道道南地域の意向を一切斟酌することのないものであり、断じて受け入れられるものではありません。

また、大間原子力発電所は、世界でも最大級で、商業用としては世界で初めてMOX燃料を全炉心で使用する、より危険性の高い原子力発電所です。このまま大間原子力発電所が建設され、稼働した場合、風評被害により基幹産業である漁業や農業の一次産業をはじめ水産や観光など、道南地域の経済に甚大な影響もたらされるとともに、ひとたび福島原子力発電所と同様の事故が起これば、大間原子力発電所との間に遮へい物もなく、最短で23キロメートルの対岸に位置する道南地域の住民の生命は危険にさらされることになります。

よって、木古内町議会は、道南地域における生命の安全、安心と産業を守るため、大間原子力発電所建設の無期限凍結を断固求めていくことを表明するものであります。